

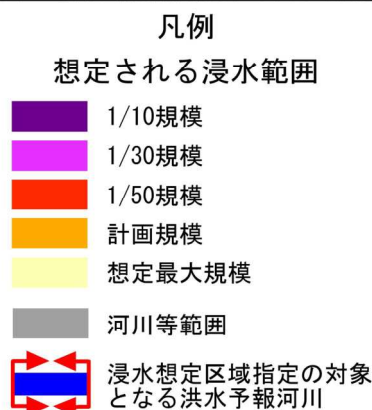
暫定版

1. 説明文
 - (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率 $1/10$ 、 $1/30$ 、 $1/50$ 、計画規模（ $1/100$ ）、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深 3cm （1階居室浸水相当）以上）を示した図面です。
 - (2) この水害リスクマップは、短期（令和7年度）の馬洗川河河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率 $1/10$ （毎年、1年間にこの規模を超える洪水が発生する確率が $1/10$ （10％）、年超過確率 $1/30$ （毎年、1年間にこの規模を超える洪水が発生する確率が $1/30$ （3％）、年超過確率 $1/50$ （毎年、1年間にこの規模を超える洪水が発生する確率が $1/50$ （2％）、年超過確率 $1/100$ （毎年、1年間にこの規模を超える洪水が発生する確率が $1/100$ （1％）、想定最大規模の降雨に伴う洪水により馬洗川が氾濫した場合の浸水の状態をシミュレーションにより算出したものです。
 - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまでこのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示している年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても洪水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水核計時の降雨波形（昭和4年6月型、昭和47年7月型、平成10年10月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
 - (4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和2年6月1日指定・公表したものを表示しています。河道条件が異なる場合があります。
2. 基本事項等

(1) 公表年月日	令和4年9月2日
(2) 作成主体及び対象となる河川	国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所：江の川水系馬洗川左岸・広島県三次市南畑敷町字下柳743番地先から江の川合流点まで
(3) 実施区間	右岸：広島県三次市四十賀町宇樋の尻273番地先から江の川合流点まで 年超過確率 $1/10$ （江の川上流域の2日間の総雨量 179mm ） 年超過確率 $1/30$ （江の川上流域の2日間の総雨量 231mm ） 年超過確率 $1/50$ （江の川上流域の2日間の総雨量 260mm ） 年超過確率 $1/100$ （江の川上流域の2日間の総雨量 306mm ）：計画規模 想定最大規模の降雨（江の川上流域の48時間の総雨量 479mm ）
(5) 河道条件	短期（令和7年度）
(6) 関係市町村	三次市
(7) その他計算条件等	計算メッシュ及び地盤高メッシュについては 25m を使用

2. 基本事項等
- | | |
|-------------------|---|
| (1) 公表年月日 | 令和4年9月2日 |
| (2) 作成主体及び対象となる河川 | 国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所：江の川水系馬流川左岸、広島県三次市南郷町字下掛原743番地から江の川合流点まで |
| (3) 実施区間 | 右岸、広島県三次市四丁町字樋の尻723番地から江の川合流点まで |
| (4) 算出の前提となる降雨 | 年超過確率1／10（江の川上流域の2日間の総雨量 17.9 mm）
年超過確率1／30（江の川上流域の2日間の総雨量 23.1 mm）
年超過確率1／50（江の川上流域の2日間の総雨量 26.0 mm）
年超過確率1／100（江の川上流域の2日間の総雨量 30.6 mm）：計画規模想定最大規模の降雨（江の川上流域の4.8時間の総雨量 47.9 mm） |
| (5) 河道条件 | 短期（令和7年度） |
| (6) 関係市町村 | 三次市 |
| (7) その他計算条件等 | 計算メッシュ及び地盤高メッシュについては2.5mを使用
※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。 |

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。



国土地理院の電子地形図25000を掲載「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 4JHf 101」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」